

中央公民館

- ・真夜中乙女戦争 (F)
- ・スモールワールズ (一穂 ミチ)
- ・沈黙の終わりに上・下 (堂場 瞬一)
- ・エリジーは流れない(三浦 しをん)
- ・にぎやかな落日 (朝倉 かすみ)
- ・悪魔には悪魔を (大沢 在昌)
- ・ひきなみ (千早 茜)
- ・薔薇のなかの蛇 (恩田 陸)
- ・モテ葉 (旺季 志ずか)
- ・月下のサクラ (袖月 裕子)
- ・小説8050 (林 真理子)
- ・大事なことは植物が教えてくれる (稲垣 栄洋)
- ・共謀小説家 (蛭田 亜紗子)
- ・一度きりの大泉の話 (萩尾 望都)
- ・満天の花 (佐川 光晴)
- ・児童書
- 「モルモットのちゃもとけだまーず」
- 「あなたのすてきなところほね」
- 「ぼくがっこう」

※ここに記載の他、多数の新刊図書が入っています。

衣奈会館

- ・ムーンライトイン (中島 京子)
- ・いわいごと (畠中 恵)
- ・新・絵本はこころの処方箋 (岡田 達信)
- ・じい散歩 (藤野 千夜)
- ・ベンチの足 (佐藤 雅彦)
- ・ぼくにはこれしかなかった早坂 大輔
- ・おしゃべりな人見知り (山本 ゆり)
- ・クララとお日さま(カズオ・イシグロ)
- ・縁もゆかりもあつたのだ (こだま)
- ・全員悪人 (村井 理子)
- ・ぐるり (高橋 久美子)
- ・ときをためる暮らし (つばた 秀子)
- ・貴方のために綴る 18 の物語 (岡崎 琢磨)
- ・百合中毒 (井上 荒野)
- ・日向を掬う (朝倉 宏景)
- ・ポリ袋で作るズボラさんの感動おやつ (梶 晶子)
- ・児童書
- 「いつかあなたをわすれても」

白崎会館

- ・白鳥とコウモリ (東野 圭吾)
- ・美智子さまいのちの旅 (渡邊 みどり)
- ・雲雀坂の魔法使い (沖田 円)
- ・どの口が愛を語るんだ (東山 彰良)
- ・ウィーン近郊 (黒川 創)
- ・ぼくモグラ キツネ 馬 (チャーリー・マッケンジー)
- ・己丑の大火1・2 (佐伯 泰英)
- ・初詣で (佐伯 泰英)
- ・あきらめなければ失敗はない (山下 和之)
- ・児童書
- 「うさぎタウンのおむすびやさん」
- 「はりねずみのルーチカ」
- 「えんそくねこねこ」
- 「もちもちぱんだヤキモチ注意報」
- 「なつ なあに」
- 「白爆少年花子くん 14巻・15巻」



由良町公民館だより
2021夏号
令和3年 7月1日

- ・中央公民館(日高郡由良町網代248-12 ☎65-2418)
- ・衣奈会館(日高郡由良町衣奈765-7 ☎66-0921)
- ・白崎会館(日高郡由良町吹井910-2 ☎65-3510)

「防災の日」と「津波防災の日」

9月1日は「防災の日」です。

この防災の日は、1923年9月1日(大正12年)に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した「関東大震災」を由来として1960年に制定されたものです。

また、11月5日は「津波防災の日」として、2011年3月11日(平成23年)に発生した東日本大震災を契機として同年に制定されました。この11月5日という日は、江戸時代の末期(1854年)に中部地方から九州にかけて大きな津波被害をもたらした安政南海地震の発生した日であり、広川町が舞台の「稲むらの火」の逸話にちなんだ日です。

さて、わが由良町に大きな災害をもたらした南海地震は、1946年の昭和南海地震、1854年の安政地震、1707年の宝永地震と300年余りの間に3回の大地震が起こっており100年から150年周期で起こると言われています。この3つの地震の内、直近の昭和南海地震と津波による被害では、由良町内だけでも家屋の半壊・全壊・流失が607軒、床上浸水649軒、死者及び行方不明者19名と多くの被害が出ています。

このような地震・津波による災害やこれからの台風シーズンによる災害から私たちは逃れることができないため、町内の各地区で実施されている避難訓練などにはできるだけ参加し、ひとり一人が減災に繋がられるように、避難場所・避難経路の把握は勿論の事、非常時に持ち出すものを準備しておくなど平日頃からの意識が大切です。非常時に持ち出すものは、台風や地震など災害の種類によっても違い、また、乳幼児や高齢者のいる家庭など各家庭の事情などにより異なりますが、いつでも持ち出せる最低限必要な物品は揃えておきたいものです。

(裏面には、非常時に持ち出すもの一覧表を記載)



【報告】中央公民館

*4月・5月に予定していましたが山野草展示会、ゴールデンウィーク展は、新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。

【7月～9月の行事予定】

中央公民館

*山野草展示会

7月10日(土)
11日(日)

*ふれあい映画会

8月7日(土)

*夏休み子ども講座

詳細は、下記をご参照ください。



夏休み子ども講座

*ダンス(全2回)

7月30日(金)
8月6日(金) 午後1時30分
定員12名(3～6年生)

*クッキング(パン作り)

7月25日(日) 午後1時
(4～6年生)

8月1日(日) 午後1時
(1～3年生)

*絵を描こう

7月28日(水) 午後1時
(1～3年生)

8月4日(水) 午後1時
(4～6年生)

*水でつぼう作り

8月8日(日) 午後1時
定員20名(1～6年生)

*由良町探検

8月19日(木)
午前9時30分
定員10名(4～6年生)



熱中症予防心得
・外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう
・こまめに水分補給を行いましょ
・室内では、夜間もエアコンを使用しましょう
・涼しい服装にしましょう
・屋外で十分な距離(2メートル以上)がとれる場合は適宜マスクをはずしましょう



非常時に持ち出すもの一覽表(参考)

◎最低限必要なもの

- *水 飲料水(給水袋・ポリタンク) レトルト食品・缶詰(肉・魚・野菜など)・栄養補助食品・アルファ化米・粉ミルク(哺乳瓶) 歯ブラシ・歯磨き・トイレットペーパー・除菌ウェットティッシュ 紙おむつ・おしりふき・生理用品・ビニール袋
- *清潔品 着替え・タオル・スリッパ・雨具・メガネ
- *衣類等 持病薬・マスク・常備薬・救急絆創膏・包帯
- *薬・救急用品 毛布・懐中電灯・乾電池・ライター・軍手・レジャーシートはさみ・多機能ナイフ・缶切 食品用ラップ・アルミホイル 簡易食器
- *貴重品等 現金・車や家の鍵・健康保険証 身分証明書・印鑑
- *調理器具 母子健康手帳・年金手帳・緊急時の家族・親類等の連絡先
- *情報確認手段 携帯電話充電器・ラジオ
- *避難時 防災ずきん又はヘルメット

◎可能であれば持っていきたいもの

- *調理器具 カセットコンロ・カセットボンベ 鍋類
- *日用品 ロープ・風呂敷・寝袋・マット
- *日用品 ※ 大きな災害になれば避難所に入れない場合も想定されますので、テント・テーブル・寝袋・ラントーン・イスなどのアウトドアグッズがあれば重宝します。

【俳句】

軽やかに青葉剪定ハサミ音
寒暖の差に惑いつつ更衣
語るやうに花鉄鳴る番薇の庭
鳥たちの空を間借りし鯉職
万緑と海の碧さをドライブす
水底に齢を殖やす根無草
芍薬を切れば鉄の濡る朝
一呼吸文字に起こすよ五月晴れ
夏山に雷おちて雨上がる
回復の兆しよ白き花水木
九十の齢すぐ其処菊芽挿す
じゃじゃ豆が弁当のすま野のうらら
咲き揃ふあやめへ鉄入れ難し
接岸の鹿尾菜を下ろす一家族
祇園社や首ながくして堀の龜
母だけに分る片言柏餅
夕焼けの膨らみ抜ける戻り船
喜びか嘆きか蛙雨を鳴く

伊藤 秀一
上本 郁子
片山 綾子
北岡 ゆみ
小谷 かおり
小山 ひとみ
坂田 妹子
関本 展大
高橋 義巳
竹中 桃代
田淵 佳根
寺井 由美
西川 初枝
広瀬 峰雄
藤田 薫
山下 治子
吉村 美恵子
柳岡 百合江

【短歌】
小さなわが歌の碑を指さして讀へてくるか二歳の曾孫
うららかな春の陽ざしを前菜にカフェのテラスにランチを食うづ
わが窓より見ゆる山並緑濃く白鷺の群徐々に消えゆく
窓越しに見ゆる田起しをちこちにはやも蛙の声も聴こゆる
群青の空と海に囲まれし重山は今日緑の薄し
さんご樹の赤き芽赤き葉生垣は陽あたりで燃ゆるが如し
野の桜山の桜も咲きみちてはやうぐひすのひと声聞けり
春うらら路を剥きつつひたすらに思ふはコロナの終息のこと

二本松 せつ子
山下 清美
白樫 美智子
坂田 ひろ美
大西 克恵
中家 かよ子
濱田 順子
塩路 弘子

【川柳】

わが町のみかんはいつも美味しくて
ミカン畑明日は身売りの選果場
生産地嫁いで良い事食べ放題
デザートはみかんしかない昭和の日
どんな時でもみかんと聞けば食べたくて
紀の国に生まれみかんと縁きれぬ
由良みかんうまさ爆発止まらない
由良早生はみかん農家が自信持つ
ゆらっ子のミカンが一番美味しいね
車窓から見る段々畑黄金色
毎年に紀州のみかん家族待つ
古里のみかんの香り飛んでくる

井口 きよみ
井上 充明
門田 明美
貴志 治郎
高橋 義巳
谷中 克己
田代 豊子
中崎 枝美子
中崎 文香
中口 小夜美
西川 美代子
五嶋 恭子

